

第三者評価を受審した感想 (事業者コメント)

受審理由について

平成19年4月1日に幼保連携型の認定こども園として開園して2年目を迎えました。この度、当園を客観的に評価していただき、課題を明確にし、問題解決をすることで今後の保育サービスの質の向上につなげたいと考え今回の受審に至りました。保護者の皆様にはアンケートで貴重なご意見を頂きありがとうございました。

評価結果について

全体の評価講評で、「特に良いと思う点」として地域支援事業や食育への取り組み、職員向けの業務マニュアルを挙げていただきました。今後も職員一同、創意工夫して更なる質の向上に努めてまいります。

また、「さらなる改善が望まれる点」として、登降園の方法についての再検討 幼保機能のさらなる緊密化、だれでも使える簡便なマニュアルの再整備 に関してご意見をいただきました。運営してきて、幼稚園機能と保育園機能の保護者ニーズに応え、満足していただくことの難しさを強く感じているところですが、認定こども園として社会的責任を果たしていくためにも、保護者間の不公平感の解消に取り組み、幼保機能の融合を図っていくことが最も大切な課題であることを再確認しました。今後も保護者の皆様からご意見をいただくとともに、職員は職員会議で意見交換を行い、継続的に改善に取り組んでまいります。また、簡便なマニュアル作成に関しては新人でも日常業務が容易に理解できる内容に見直しをすることで、業務の標準化を進めていきます。

今後の展望

日本の教育、保育界にも大きな変革があり、教育基本法・学校教育法が改定され、21年度4月より幼稚園教育要領・保育所保育指針が新しくなり施行されます。本園の展望として改定の基本的な要点を踏まえ、独自性を発揮し創意工夫して子どもたちに生涯にわたる生きる力の基礎を育てていきたいと考えています。保護者のワークライフバランスを支援し、地域の子育て支援を一層充実して地域社会に貢献してまいります。

羽根木こども園